

令和6年度大分県企業局経営戦略アクションプラン取組評価について
(外部評価調査)

外部評価調査書（R6年度分）

経営評価委員会評価結果（R7.8.7）

【1】全体評価

(計画全体における取組に係る評価について記述してください。)

大分県企業局における経営戦略アクションプランの取組については、おおむね計画に沿って実施されたと評価できる。

1『戦略の柱Ⅰの効率的・効果的な経営の実現』について

- ①技術職員の資格取得件数については目標を上回っており、資格取得件数のうち半数が第三種電気主任技術者となっており、OJTや実践的な研修にも力を入れている。
- ②先端技術の活用に関して、別府発電所においてスマート保安を導入し検証を実施するなどの取組を行っており、進捗が図られている。
- ③新規事業を含む事業展開に関しては、先進事例の調査研究を行いながら、事業性検討会を実施し、取組を進めている。
- ④コストダウン・業務改善に向けた取組に関しては、特に情報共有システムの導入を進めることにより効率化を進めようとしている。

2『戦略の柱Ⅱの安定的なサービスの提供』について

- ①近年頻発する豪雨災害や今後発生が予想される巨大地震に備えて、発生時に迅速かつ的確に対応できるよう防災訓練等を通じて危機管理体制の充実が図られている。
- ②発電所リニューアル事業については、芹川第一発電所、芹川第二発電所及び桑原発電所のいずれにおいても、目標進捗率はクリアされている。
- ③施設の適切な修繕・改良工事の実施については、故障・作業停電電力量の削減率は目標に対して厳しい状況となった。これは設備の故障により施設の稼働が長期間停止したことに起因している。故障・作業停電による損失の最小化は公共サービスの質向上につながることから、老朽化施設については設備内容の見直しも含めて検討してみる必要があると思われる。
- ④主要施設の修繕・改良工事の実施については、配水管電気防食設備設置、主配水管補修、浄水場沈殿池それぞれの設計業務委託、水管橋塗装工事、主配水管補修工事等、計画に沿って行われている。
- ⑤浄水場、取水場の設備更新に係る設計委託業務や省エネ機器の導入についても実施されている。

3『戦略の柱Ⅲの地域社会への貢献、県民福祉の向上』について

- ①ダム流域との交流事業については、主催者である地元団体の事情により目標を若干下回ったが、環境保全活動などへの助成は計画以上に行われた。

【2】個別評価

		内部評価			外部評価			コ メ ン ト	
大項目					S	A	B	「S」：項目全てがⅡ以上で、かつⅠが70%以上 「A」：Ⅲが1項目以内 「B」：Ⅲが2項目以上	
	小項目				I	Ⅱ	Ⅲ	「Ⅰ」：良好な実施状況にある 「Ⅱ」：概ね年度計画通り実施している 「Ⅲ」：計画までの実施ができなかった	
戦略の柱Ⅰ：効率的・効果的な経営の実現					S	A	B		
(1) 共通事項									
1	環境変化に対応できる組織運営・人材育成	(P1)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ	
【目標指標】（実績） 技術職員の資格取得件数 6件/年（8件/年） 経営状況説明会の開催 2回/年（2回/年）									
2	先端技術の活用による業務の効率化・高度化	(P4)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ	
【目標指標】（実績） スマート保安の試験的導入 1発電所（1発電所）									
3	新規事業を含む事業展開に向けた研究	(P6)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ	
【目標指標】（実績） 事業性検討会の実施 2回/年（2回/年）									
4	コストダウン・業務改善に向けた取組	(P8)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ	
【目標指標】（実績） 情報共有システムの導入率 25%（62%） アセットマネジメントの診断表更新回数 4回（4回） 業務改善等の実現に向けて取り組んだ件数 10件（10件）									
(2) 電気事業									
1	電力システム改革に的確に対応することによる健全経営の維持	(P11)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ	
国や他県の動向を踏まえた売電入札実施時期検討 他									
(3) 工業用水道事業									
1	顧客本位の取組	(P13)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ	
【目標指標】（実績） ユーザー懇談会開催回数 1回（2回） 現地案内開催回数 1回（1回） ユーザー訪問数 22事業所（23事業所）									
2	新規顧客への対応	(P15)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ	
既存ユーザーの使用実態やニーズの把握 他									

		内部評価			外部評価			コ メ ン ト	
戦略の柱Ⅱ：安定的なサービスの提供					S	A	B		
(１) 共通事項									
1 耐震化・老朽化対策の推進による電力と工業用水の安定供給	(P17)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ		
戦略の柱Ⅱ電気事業１、工業用水道事業１の評価結果をもとに評価									
2 危機管理体制の充実	(P18)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ		
【目標指標】（実績） 防災実動訓練 1回（1回） ダム管理演習 1回（1回） 現場対応訓練 1回（1回） 工水ユーザー企業との情報伝達訓練 1回（1回） 相互応援協定に基づく情報伝達訓練 1回（1回）									
3 感染症リスクへの対応	(P21)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ		
業務体制の確保（インフルエンザワクチンの集団接種を実施）他									
(２) 電気事業									
1 発電所リニューアルの推進 （再生可能エネルギーの導入拡大）	(P23)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ		
【目標指標】（実績） 芹川第一発電所 事業進捗率 20%（22%） 芹川第二発電所 " 20%（23%） 桑原発電所 " 4%（4%）									
2 自然災害対策の計画的な実施	(P26)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ		
【目標指標】（実績） 既存施設（建物・水管橋）の耐震化率 95%（95%） 既存施設（水路工作物）の耐震照査率 95%（95%）									
3 発電所のオーバーホール工事の実施	(P28)	－	－	－	I	Ⅱ	Ⅲ		
－									
4 その他、施設の適切な修繕・改良工事等の実施	(P30)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ		
【目標指標】（実績） 鉄塔改良・保全工事等実施件数 4件（4件） 主要水路工作物修繕・改良工事実施件数 1件（1件） 故障・作業停電電力量削減率 14%（△44%）									
(３) 工業用水道事業									
1 給水ネットワークを用いた隧道点検及び補修	(P32)	－	－	－	I	Ⅱ	Ⅲ		
－									
2 自然災害対策の計画的な実施	(P34)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ	・24時間365日稼働の中の数時間の濁りは「Ⅰ」の評価が妥当と判断。濁り発生時には利用している各社へ通知する体制も整備されていることから問題ないと思料。昨年と同様の事象あり。評価基準の見直しも検討してはいかがでしょうか。	
【目標指標】（実績） 既存施設の耐震化率 76%（76%） ユーザー要求量に対する給水率 100%（100%） 給水条例基準濁度での供給 100%（99.7%） 浸水対策工事実施件数 1件（1件）									
3 浄水場の老朽化対策、老朽化管路の更新	(P36)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ		
【目標指標】（実績） 主要施設の修繕・改良工事（委託）実施件数 5件（5件）									
4 その他、施設の適切な修繕・改良工事等の実施	(P38)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ		
【目標指標】（実績） 主要設備更新設計業務委託 2件（2件）									

戦略の柱Ⅲ：地域社会への貢献、県民福祉の向上				S	A	B	
(1) 共通事項							
1 地域貢献	(P40)	I	II	III	I	II	III
【目標指標】(実績) 交流事業の回数 5回(4回) 環境保全活動等への助成 8団体(15団体)							・地域貢献を継続すると共に、貢献活動の様子の効果的な発信も併せて実施する。 ・企業局の取組を広く地域の方々へ知っていただくことをつづけてください。 ・先方の都合によるものであり、「I」の評価が妥当と判断。将来の大分を支える子供に、企業局の価値(大切さ)を理解してもらうためにも、しっかりと活動を継続していただきたい。
2 県政貢献	(P43)	I	II	III	I	II	III
一般会計への繰出を実施(電気事業より一般会計へ5千万円の繰出)							
3 効果的な広報の実施	(P45)	I	II	III	I	II	III
【目標指標】(実績) 施設見学の受入回数 10回(13回)							

※ページ番号は別冊「大分県企業局経営戦略アクションプラン 実施計画及び実施結果」のページに対応